
中国情報（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

2009年12月24日号

©2009年11月における中国の油糧・食油市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2009年11月における油糧・食油市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

1 国際食用植物油価格は引き続き上昇

2009年11月の国際食用植物油価格は前月の上昇基調が継続し、南米の枝豆油のCNF価格（FOB価格＋運賃）は、1トン当たり893ドル、前月比1.9%高、前年同月比14.3%高、マレーシア産パーム油（融点24℃）FOB価格は、同701ドル、前月比1.9%高、前年同月比34.8%高となった。

2009年11月の国際油菜籽価格は若干下落し、カナダ産油菜籽のCNF価格（FOB価格＋運賃）は1トン当たり452ドル、同2.2%安、同13.3%高となった。

2 輸入油菜籽価格は国内価格を上回り、輸入大豆油価格は国内価格を下回った

2009年11月のカナダ産油菜籽の通関渡し価格（CIF＋関税等）は、1トン当たり約3,980元と国内油菜籽工場買入価格に比べ同280元高となった。米国メキシコ湾における大豆油のFOB価格は同791ドル、元換算で同5,404元と、国内消費地区大豆油価格に比べ同1,803元安となり、輸入大豆油の通関渡し価格（山東省）は同7,174元と、当地の国産大豆油工場出荷価格に比べ同34元前後安であった。

3 1～10月の植物油原料、食用植物油輸入量は増加

海関統計によると、2009年10月の食用油籽輸入量は、前月比9.2%減、前年同月比22.9%増の276.6万トン、食用植物油輸入量は、同31.8%減、同45.9%増の75.0万トンとなった。

2009年1～10月では、累計食用油籽輸入量が、前年同期比19.1%増の3,796万トン、食用植物油輸入量が、同19.8%増の787万トン、そのうち油菜籽が前年の2.3倍の267万トン、菜種油が同99.5%増の40.3万トン、パーム油が同24.0%増の533万トンであった。